

認定特定非営利活動法人 **日本雲南^{れんぎ} 聯誼協会**

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1 階

Tel: 03-5206-5260 Fax: 03-5206-5261

Email: yunnan@jyfa.org URL: http://www.jyfa.org/

【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室

Tel.+86-871-63311468 Fax.+86-871-63320658

f http://www.facebook.com/NPO.JYFA @jyfa

ブログ 雲南の郵便屋さん 検索

編集・発行人 初鹿野 恵蘭

印刷協力 昭和情報プロセス(株) (株)技術評論社/デザイン Hope Company



Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

第79号

発行日 2022年(令和4年)2月15日

会報

「25の小さな夢基金」～国境もコロナ禍も越えて～ 昆明市女子中学×愛知県立津島高等学校 ONLINE 国際交流授業

雲南の春蕾生と日本の高校生が
ON LINEでつながる

「25の小さな夢基金」で支援する春蕾生が在籍する昆明市女子中学と、愛知県立津島高等学校が昨年11月と12月、オンライン交流会を開きました。協会がこれまで行ってきた上海日本人学校高等部との交流以外に、同世代との交流を通じて日本理解を進め春蕾生の国際性を伸ばすことが目的です。津島高校は海外との交流に力を入れており、国際理解コースがあることから協会に申し入れがありました。

11月の交流会は午前の部(3年生)と午後の部(2年生)が行われました。初鹿野理事長と昆明市女子中学の陶紅校長、津島高校服部校長のあいさつの後、生徒たち



が英語で自己紹介し、学校や地域の紹介を行いました。

交流から始まる、友情の輪

午後は自由な交流の時間をより多く取り、話をもっと盛り上がりました。昆明市女子中学の生徒たちによる雲南の紹介や芸術作品、少数民族の衣装に、津島高校の生徒達は興味津々でした。津島高校の生徒達も準備した五星紅旗を振り、友好の気持ちを伝えました。

◀陶紅 昆明市女子中学校長と春蕾代表生徒たち

途中、津島高校のパソコンにトラブルがありましたが、生徒たちはサブパソコンを使い、春蕾生達と会話を続けました。遠く離れた異国で、文化も習慣も違う若者達が、国境もコロナ禍も超えて交流できました。

周回の関心も高く、津島高校にはケーブルテレ



◀他の春蕾生は各教室から参加



▼愛知県立津島高等学校の生徒さんたち



▼津島学生Tsushima Students

ビの取材が入りました。春蕾生にとっても英語でプレゼンできたと同時に、日本の同年代の若者と会話して視野を広め、学習意欲を高める絶好の機会になりました。時間が過ぎるのはあっという間で、両校の生徒ともまだまだ話したいことがたくさん残ってしまい、交流は次回へ持ち越しになりました。

この交流会は定期的に行われることが決まっており、近い将来に実際に相見する計画です。

栗田久里子さん

(「25の小さな夢基金」
会員・翻訳ボランティア)

「25の小さな夢基金」 130人の女子高生が里親 サポートを待っています

昆明市女子中学(日本の高校相当)に昨年9月入学した春蕾第16期生191名は、それぞれの夢を実現しようと日夜、勉強に励んでいます。生徒たちにとって、親元を離れた昆明での生活はつらいものでもあります。彼女たちを支援する里親サポーターを募集中ですが、まだ130名以上の里親が決まっていません。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

楊応芳

◆ミャオ族



【将来の夢】
教師のような
社会に役に立つ
人になりたいです。

王子琳

◆ペー族



【将来の夢】
多くの人に
故郷を知ってもらい、
故郷の特産品を送り出したい。

白吾秋

◆ハニ族



【将来の夢】
教育事業に
貢献したいです。

彭清清

◆イ族



【将来の夢】
医者になり、
救急医療活動
をしたいです。

李秀媛

◆ワ族



【将来の夢】
医者になり、
多くの人を
助けたいです。

蘇敏

◆漢族



【将来の夢】
子どもの頃、
病気がちだったので
漢方医になって人々の
痛みをやわらげたいです。

普金美

◆イ族



【将来の夢】
故郷で勉強を
教えて人を育て
たいです。

和禎嫻

◆ナシ族



【将来の夢】
慈善家になり私の
ように困っている人が
学業を卒業できるまで助
けて、夢を実現させてあげたいです。

李四妹

◆ラフ族



【将来の夢】
「白衣の天使」に
なりたいです。

戴曾怡

◆チワン族



【将来の夢】
教師になり、
人に教えて人を
育てたいです。

「25の小さな夢基金」
里親サポーター詳細とお申込み

【協会公式 HP jyfa.org】 → 【協会プロジェクト】 → 【「25の小さな夢基金」プロジェクト】
皆様のご支援をお待ちしております。

※「25の小さな夢基金」への支援は税額控除の対象です。

創設 久留米・雲南教育基金

このたび標記の教育基金が創設されることになった経緯について説明します。

私は九州大学教授を定年退職した後、久



左から 樋口忠治元顧問、初鹿野理事長、故岩間辰志顧問(2007年12月)

留米大学附設高等学校と中学校に校長として9年間在職しました。もともと本高等学校の第2回の卒業生でもあります。久留米大学は福岡県久留米市にあり医学部を中心に文系の法・文・経の学部を併せ持つ私立大学です。その中において附設高等学校は大学の学部と同等の扱いを受けており、名称も附属ではなく附設となっています。全国でも他に例を見ない学校名で、有名な進学校でもあります。

今回協会に教育基金を寄付することになった猪飼秀隆君はこの高等学校の第29回の卒業生で、数年前まで久留米工業大学で教鞭をとっていました。御両親は公立の中学校や小学校の教員を永らく勤め、一時はドイツの日本人学校の教員として文部省

に招聘されておられたそうです。御両親の初等・中等教育に対する熱意を受け継ぎ、猪飼君はその遺産の一部を雲南省の教育基金として寄付したいと考えたといいます。彼から相談され、かつて親しくしていた惠蘭理事長に話を伝えたところ、「久留米・雲南教育基金」の創設となった次第です。

猪飼君は久留米市内の老人クラブ(会長)の幹事をしており、同クラブの古賀輝人会長も附設高等学校の第10回卒業生で大規模病院の経営者です。二人とも私の後輩にあたります。猪飼君の行為に刺激を受けて雲南の教育基金の趣旨に賛同する人がクラブの中から現れるかも知れません。そのような期待もしつつ、猪飼秀隆君の今回の基金への寄付について簡略に説明した次第です。

元日本雲南聯誼協会顧問 樋口忠治

猪飼秀隆さん

私の父、猪飼幸は福岡県久留米市に1930年生まれ、2012年没。母、慶子は福岡県朝倉市に1933年生まれ、2015年没。両親は、それぞれ農家の長男、長女として育ち、福岡青年師範学校(現 福岡教育大学)で学び、生涯にわたり中学校、小学校の教員をしました。父は51歳の時に当時西ドイツの日本人学校に赴任、母と共に3年間、在外日本人生徒の教育に携わった後、定年退職してからも初等教育に情熱を注ぎました。私はそのような父と母の教育に対する遺志を継ぎたいと考え遺産の一部を寄付した次第です。NPO法人日本雲南聯誼協会が私の気持ちを生かしてこの基金を有意義に使われることを期待しています。

連載 「25の小さな夢基金」Vol.12 感謝の気持ちを忘れず 仕事に子育てに頑張っています

卒業生の今 田正琳さん

2007年入学 第2期生 ラフ族

尊敬する片岡巖おじい様

こんにちは!私は雲南省の昆明市女子中学春蕾クラスでご支援いただいた田正琳で



田正琳さん(右)。1家族とご一緒に

す。感謝のお手紙がこんなに遅くなり本当にすみません。ご支援、希望の光をくださったことに心から感謝します。2022年の新しい年を迎えおじい様に申し上げます。新年おめでとうございます!全てがうまくいく良い年で、ご家族の皆さまが健康でありますように。

まず自己紹介します。私、田正琳は1992年6月15日生まれ、雲南省プーアル市鎮沅県出身で、昆明理工大学で会計学を専攻し2014年に卒業、今年30歳になりました。2018年に8年付き合った彼と結婚し、今は2歳のかわいい女の子がいて、幸せな日々を送っています。家族写真をご覧ください。

大学卒業後は会計事務所の昆明支店に就職しました。私たちの会社は日本にも支店があり仕事は順調です。会計士と税理士の資格を取り、さらに公認会計士の資格を取ろうと思っています。私と夫は仕事から出張が頻繁にあるので、転職できればと思

います。そうすれば子どもの成長を見守れるからです。職場をご覧ください。

私は2018年12月に社員旅行で夫と日本に行きました。大阪から入り東京から帰国しました。印象深かったのは街がきれいなこと、皆さんマナーが良く、物価は高いですが偽物がなく、高齢化が進んでいたことです。大阪城公園や心齋橋、清水寺など、名前のわからない所もたくさん行きました。娘が三歳になったら日本に連れて行き、雰囲気を感じさせたいと夫と話しています。早くコロナが収束し、日本に行けたらおじい様に娘を見せたいです。

私の近況をご報告しましたが、おじい様は最近如何ですか?おじい様はとても元気で、まだお仕事をされていると恵蘭おば様から聞きました。どうかお体をお大事に、体を鍛えてください。食べたい雲南の特産品はありますか?私のふるさとはたくさん美味しい物があります。自然食品のクルミ、

里親片岡巖協会顧問 (株式会社技術評論社 代表取締役)



お茶、たくさんの子豚もいるので、日本までお送りしますよ。コロナが収束したら、ご家族と雲南にいらっしゃってください。我が家でおいしい野菜をご馳走します。

ウィチャットはされていますか?されていれば、いつでもおしゃべりできます。今回のお手紙はここまでにします。新しい年が順調で、ご健康であることをお祈りします。ぜひ雲南へ来てくださいね。

田正琳(「25の小さな夢基金」第2期生、ラフ族)

翻訳:熊寛さん

(東京本部インターン生、東洋大学社会学部1年)

新規会員ご紹介

2020年11月~2021年12月 (ご入会順、敬称略)

正会員 石原弘樹、青島祐介、山下和之、真島都

賛助会員 結城隆、叶美香

法人会員 ジャスト株式会社、菲諾教育科技(上海)有限公司

「25の小さな夢基金」里親サポーター

苗苒、松原由利子、滝澤晴弓、俞菊、熊寛、劉国利、上原勉、稻福誠、松田秀清、中嶋敏、王岩、王晓葵、馬曉茹、林正人、惠津森麻衣、松本静、季瑞穎、盧劍峰、平田智彦、熊澤友紀子、宇賀洋一、神谷華江、深谷百合子、馬場正昭

新規ご入会 法人会員 菲諾教育科技(上海)有限公司

李劫さん



惠蘭理事長と出会ったのは2011年、日本に来たばかりの頃に参加した日本語スピーチ大会でした。当時、一体どんな方だろう、何とお呼びすればよいのだろうと思ったことを覚えています。その後、1996年の麗江大地震の際、雲南の貧困地区を救いたいという思いで惠蘭理事長が日本雲南聯誼協会を立ち上げたこと知り、感銘を受けて協会の活動に参加しました。微々たる力ですが、とても充実している実感がありました。「誰かを照らすことは、自分を照らすこと」、惠蘭理事長の言葉の通りです。いつか私も惠蘭理事長のように、み

んなを明るく照らす人になりたいと思いました。その後、故郷上海に戻って人材育成関連の仕事に就きました。

「人」は企業にとって最大の資源であり、社会発展の基礎です。私はこの仕事が大好きで、お客様に認めていただくことや関わった方々の成長に刺激され、2019年に「菲諾」という人材育成会社を設立しました。「どんな小さな約束でも必ず実行する」という理念で、顧客企業の皆様に役立つトレーニングとサービスを提供しています。また、この間二人の子供の母にもなりました。子どもたちの成長の中でも教育の大切さを感じ、雲南の子どもたちの知識を求める澄んだ眼差しを思い出しました。

そんな思いで、私は再び日本雲南聯誼協会の会員になり、「25の小さな夢基金」のサポーターとして10名の春蕾生の支援をしています。私の応援が春蕾生たちに温もりを

与え、中国の子どもたちが世界に羽ばたき豊かな人生を送ることを願っています。一人の小さな力で世界を変えることはできないかもしれませんが、私にも、子どもたちにも、仕事の仲間たちにも力になっています。

惠蘭理事長、長年の努力と協会をずっと続けてくださることに、とても感謝しています。こんな平凡な私でも一筋の光として世界を照らすことができている。

上海 李劫



会員募集 & 会費納入のお願い

▶お申し込みは▶……<https://jyfa.org/>

1か月500円からできる教育支援

雲南少数民族の子どもたちに豊かな未来を!協会を応援して下さる会員を募集します

正会員	一口 6,000円 (500円/月)
賛助会員	一口 12,000円 (1,000円/月)
法人会員	一口 18,000円 (1,500円/月)

※法人会員は3口以上でお願いします

認定NPO法人日本雲南聯誼協会へのご寄付は寄付金控除の対象となります。協会では随時、皆様からのご寄付を受け付けています。

ひろげよう支援の輪 新規会員募集中

ご寄付は雲南少数民族への教育支援、協会運営のために大切にさせていただきます。

当協会は東京都より認定を受けた「認定NPO法人」です。認定NPO法人への寄付は税制優遇(寄付控除)が受けられます。

お支払い方法

① 銀行振込

三菱UFJ銀行 目黒駅前支店 普通 1300380 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会 (トクイエリカクウウリジツニソホノウナルキキョウカイ)

② 郵便振替

振替口座 00100-8-610935 加入者名 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会 ※振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

③ クレジットカード払い

便利なオンラインでお申込みとお支払い手続きができます。 <https://syncable.biz/associate/yunnan/>

「シンカブル 雲南」で検索

■正会員・法人会員 賛助会員の皆さま■

4月初めに2022年度の会費ご請求書を郵送いたします。お手元に届きましたら、お早めにご納入いただけますようお願い申し上げます。協会は皆さまからの会費・ご寄付により運営されております。ご理解のほど、よろしくお願いたします。

連載

こんにちはCSR

—協会を支えてくださる協力企業からのメッセージ—

第29回 ● 株式会社ナンセイスチール

株式会社ナンセイスチールは、限りある資源の保護、環境や社会への負荷の軽減に努め、金属リサイクルで環境保護に貢献することを目的とする企業です。

概要

株式会社ナンセイのグループ会社。工場・建物の解体や、廃家電製品などから排出される鉄・非鉄金属スクラップのリサイクル処理を行い、特に鉄スクラップは製鋼原料として、国内、アジアを中心とした各国に輸出しており、循環型経済の発展と環境に配慮した省資源社会の構築に力を注いでいる。

代表取締役会長 稲福 誠

取締役社長 劉 国利

本社所在地:〒273-0016 千葉県船橋市潮見町48-1

電話番号:047-495-7123

HP <https://nanseisteel.com>



稲福誠会長

東京湾を一望できる自然に囲まれた場所にある株式会社ナンセイスチール本社で、ナンセイグループの稲福誠会長とナンセイスチールの劉国利社長にお話を伺いました。両社には昨年より、協会の教育支援活動に多くのご支援をいただいています。

※CSR=Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任) : 利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもつこと



劉国利社長

ナンセイグループは、台湾や日本での地震や自然災害の復興支援のほか、福建省の貧困地区への支援もされています。企業にとっても社会にとっても、教育支援が大切だという信念でCSR活動を展開しており、協会の活動については、子どもたちが知識を身につけて貧困から脱却し、価値ある人材として羽ばたくことを願っているそうです。また、多くの中国人従業員を抱えるナンセイグループでは、中国からの人材を積極的に採用し育成することは、企業としてグローバルな社会的責任だと強調されていました。

さらに、ナンセイスチールでは、循環型社会の実現に向けて木材、鉄、非鉄やセメント

を再利用し、有害物質や大気汚染の削減も目指しています。

稲福会長は「建築現場やリサイクル現場で、中国の皆さんと30年ものお付き合いがあり、絆がある。中国の皆さんの支えがあったからこそ今の事業があるので、私達も皆さんを支えたいと思います」と語られました。お二人とも、「多くの仲間にもまれ常に成長しているから、仕事は楽しい!」とおっしゃっていたのが印象的でした。



ご寄付感謝状を贈呈



鉄原料輸出船

ゴルフで教育支援 雲南少数民族女子高生の夢を叶える 第16回 雲南省少数民族児童教育支援 チャリティーゴルフコンペ



協会主催のチャリティーゴルフコンペが昨年11月17日、津久井湖ゴルフ倶楽部(神奈川県相模原市)で2年ぶりに開かれ、会員・法人会員など16組62名が参加しました。集まったご寄付は「25の小さな夢基金」春蓄生就学支援に使わせていただきます。

ご参加いただきました皆様 協賛いただきました皆様
ご協力いただきました皆様 ボランティアの皆さま
この場をお借りして御礼申し上げます
ありがとうございました

雲南省少数民族のボランティアと写真撮影してプレースタート!

皆さまに景品をお持ち帰りいただきました

たくさんの皆さまに温かいご寄付をいただきました



コンペ参加者感想①

原 聖子さん

◆2008年の第4回大会からご参加

コロナ禍で中止されていたチャリティーゴルフコンペが昨年は開催されました。協会の会員であるゴルフ仲間の友人に誘われて十年以上前から参加させていただいております。今回で16回目とのこと、毎回盛会で初鹿野理事長はじめスタッフの皆様の日頃からのご努力の賜であると思っております。自然の中で楽しくプレーできますことはもちろんのこと、ショートホールのワンオンチャレンジ等趣向も凝らされており、特にこのショートホールでは若いスタッフ

の方が様々な少数民族のあざやかな原色の衣装を身に付けて待機されており、その姿は緑に映えて、それはそれは美しく、このコンペならではの景色となっていると思います。プレー後のパーティーでも、この民族衣装の美しさを間近で見ることが出来ます。このゴルフコンペでお顔見知りになった常連の方と、一年に一回お目にかかれますのも私の楽しみの一つです。このような楽しい催しがこれからも末永く開催されますことを願っております。ウィズコロナの時代です。協会の活動も様々な影響があることと思います。最後になりましたが、協会の益々のご繁栄をお祈り致します。



コンペ参加者感想②

吳 秀峰さん

今回友人のお誘いで協会主催のチャリティーゴルフコンペに参加させて頂きました。コンペには中国の方だけではなく、大勢の日本人の方も参加し、素晴らしい日本人の方と一緒に回らせて頂き、楽しいゴルフができました。当日は、少数民族の衣装を身にまとったスタッフの皆さんに迎えて頂き、とても新鮮なスタートを切りました。

日本には中国人団体がたくさんありますが、協会のような中国少数民族の子

もたちのために教育支援活動を20年間継続している組織は初めて知りました。初鹿野理事長をはじめ、協会の皆さんの取り組みと努力に非常に感服しており、20年間協会を支援している方々もきっと協会の素晴らしい取り組みに共感して一つの輪になったと感じております。私も中国少数民族の朝鮮族で、少数民族として非常に親切感を感じております。微力ながら今後も協会の活動に協力させて頂きたいと考えております。今後も、協会の皆様の益々のご発展を心よりお祈りいたします。

■ご協力・ご協賛(順不同、敬称略)

株式会社技術評論社、株式会社リンガーハット、麒麟(中国)投資有限公司、綿半ホールディングス株式会社、株式会社ナンセイスチール、株式会社京王プラザホテル、津久井湖ゴルフ倶楽部、図書印刷株式会社、港北出版印刷株式会社、株式会社加藤文明社、株式会社村上製本所、株式会社フォーラムエイト、テクノス興産株式会社、株式会社スマイル、東啓商事株式会社、株式会社FUJI、株式会社日野測量社、興慶株式会社、加藤純男、相知美和子、馬形貢、蘇輝、原聖子、藤本典子、野村孝志、森正一郎、小松道彦、遠藤功、ご参加者の皆さま

■ボランティア(順不同、敬称略)

滝澤潔、宋愛平、龐茜、足立洋一郎、銭美琪、陳曦、寺内明子大宮支部長

ボランティア感想①



足立洋一郎さん

ボランティア

当初はこの活動に参加したボランティアのほぼ全員の方と初対面でしたが、みな協会が描く未来に共感し、情熱的かつ利他的に助力しようとしている方々だったため、仲間意識があり、すぐに打ち解けました。当日は人生初のゴルフ場でコンペが円滑に進むよう様々な業務をこなしましたが、コンペ参加者の方々も寛大で親身な方ばかりで、楽しい言葉をかけてくださり、ゴルフ場の雄大な景観と美しい空気も相まって非常に気分が良かったです。

この活動を通じて協会やボランティアの方々との親交を深め、「仲間」ができたと感じました。仲間と1つの目標に向かって一緒に働くのは最高に楽しいですね。また協会の活動をお手伝いしたいです。

チャリティーゴルフコンペは1日ですが、準備は長く、準備活動の一部に参加して、みんなの真剣な努力を感じることができました。自分も企画に関する知識や問題の処理方法を学びました。もうすぐ社会人になる私にとって、本当に役に立つ体験でした。

特に印象に残っているのは、ボランティアの集合時間が早すぎることや、会場までの交通手段について等、様々な問題が出た時、協会が私たちボランティアのために良い宿泊や食事を提供してくれたことです。

当日は、参加者全員の教育支援への熱意を感じ、大きな感銘を受けました。十数年にわたって協会を支援してきたボランティアたちと出会い、新しい友人もでき、まだまだ自分のやるべきことが足りないと感じているのですが、これからも頑張っていきます。

ボランティア感想②



銭美琪さん

学生ボランティア

新顧問ご紹介



稲福 誠
(株式会社ナンセイ
代表取締役)

この度、顧問の拜命にあたりとても嬉しく存じます。(株)ナンセイはリサイクル業界有数の企業として、日中友好の架け橋となる事を一つの理念に活動して参りました。その奥底には環境と社会全体に貢献すると共に、中日の青少年の成長の歩みを、常に注目しています。雲南省の少数民族地域の子供達の状況を知り、学習環境と生活の質の向上と、両国青少年の文化交流の促進に取り組む事が、企業として自らの価値を創造する大切な取り組みとして、我が社の愛と力を捧げたいと思います。最後に協会が今後益々発展しますよう、心よりお祈りいたします。



劉 国利
(株式会社ナンセイ
取締役社長)

ナンセイは中国と深い縁があります。只今弊社は目覚ましい発展を遂げており、それを支えてきた中国各地からの同胞の努力が欠かせません。中日は隣国として、お互い学び合い、両国の青少年の育成と交流はとて肝心な事です。子供の頃、家庭環境に恵まれていなかったのですが、学校で色々な知識を学ぶ為に、毎日学校に通うのは幸せなことでした。豊富な知識によって自分の運命の変化が心に深く感じました。今、学んだ知識と企業の力を使って、多くの子供が学業を全うし、自分を成し遂げよう助けてあげたい。これが私たちの協会に入ったきっかけであり、今後も協会の動向を注視し、支援を続けて参ります。

イベント報告

「現代の志塾」
多摩大学特別授業



コロナ禍で延期されていた多摩大学経営情報学部(多摩市)教授、趙佑鎮先生による『志塾』において、客員教授関秀雄先生のご尽力により初鹿野理事長の特別授業が昨年11月24日に行われました。初めて行われた今回の授業では、20年にわたって協会の活動を支えてきたその志や数々の困難、今日を迎えた感想や日本の若者への期待について講義が行われました。60分という短い時間の中で、国境を越えて活動する協会の意義と目

的について、スライドを交えて熱く語りました。少数民族地域での協会活動や普段聞けない話の内容に他の教授も授業に聴講に来るなど、関心の高さが伺えました。授業後、回収した学生のアンケートには「自分が知らない世界があり、もっと知りたい」「貧困について経営学的に興味がある」「子供たちのために手を差し伸べたい」「カルチャーショックを受けた」などの回答があり、学生にとっても刺激的な講義だったようです。

イベント報告

2022年を語り合う懇親会開催

昨年12月21日、協会の役員顧問、日本雲南総商会の理事顧問、在重慶日本国総領事館の前総領事の小松道彦顧問、同館の斎藤憲二前副総領事、「25の小さな夢基金」会員で元外務副大臣のあべ俊子衆議院議員、笹川平和財団の関見元理事長、法人会員の新世界教育グループ会長の許緯顧問が、来年の日中国交正常化50周年の交流活動について話し合うため東京の雲南料理店に集まりました。



熱々の雲南名物「過橋米線」にみんなで舌鼓を打ちながら、熱のこもった、しかしとても楽しい議論となりました。みんなで心を合わせ努力することで来たるべき2022年が日中交流の新たなステージの年となることを皆さんが願っていました。

イベント報告

雲南懇話会 参加報告

雲南懇話会は、雲南省の最高峰・梅里雪山(6,740m)を中心とする雲南・チベット地域に興味・関心を持つ人々が集い、様々に情報を交換し、互いに研鑽・研究に励んでいる団体で、日本雲南聯誼協会ともこれまで様々な交流をしてきました。この度第54回雲南懇話会が京都大学で開催され、協会から初鹿野恵蘭理事長はじめ、林則幸さん、戸泉明さんが参加されました。「30年前の梅里雪山山麓の姿」、「雲南省徳宏州と島根県のお茶栽培」など雲南省にまつわる話題のほか、光永圓堂大阿闍梨、山極壽一氏(京都大学前総長)の特別講演などとても密度の濃い講演会でした。詳細な内容が懇話会のホームページ(<https://www.yunnan-k.jp/yunnan-k/>)に掲載されていますので是非参照いただければ幸いです。



左・安仁屋 政武 雲南懇話会代表 右・上原 美奈子さん
「雲南省徳宏州と島根県のお茶栽培」を講演

会員 雲南懇話会幹事 遠藤 州

イベント情報

- 「25の小さな夢基金」
津島高校オンライン交流会
日時：毎月(予定)
場所：昆明市女子中学、愛知県立津島高等学校、日本雲南聯誼協会東京本部
今年も春蓄生と津島高校の2-3年生がオンラインで国際交流を行います。
- 第22回 定時総会
日時：6月11日(土)10-12時
場所：日本雲南聯誼協会東京本部
議決権のある正会員・法人会員の皆さまには4月下旬ごろ、定時総会の資料を郵送させていただきます。協会公式HP等にて詳細をお知らせいたします。
- 「25の小さな夢基金」第14期生卒業式
日時：6月下旬
場所：昆明市女子中学(中国雲南省)
- 第17回「雲南省少数民族教育支援」
チャリティーゴルフコンペ
日時：今秋 ※予定
場所：未定
詳細は決まり次第、協会公式HP、会報誌等にてお知らせします。
- 設立22周年記念式典・
チャリティー忘年会
日時：12月 ※予定
場所：未定
詳細は決まり次第、協会公式HP、会報誌等にてお知らせします。

協会イベントに関するお問い合わせ

東京本部事務局
TEL.03-5206-5260 (平日10~18時)
✉ yunnan@jyfa.org



日本各地より95名の方が参加、盛況となりました

協会ボランティア通信

名古屋支部特集③
連載 第28回



今回は福井県在住の呉淑敏さんをご紹介します。

淑敏さんは中国の山東省青島市から来ています。来日当初、初めてスーパーで青島みかんを見かけた時、日本全国を駆け、一所懸命に青島という地名を捜しましたが、見つからなくて悔しかったです。後々分かったのは、青島みかんは1935年(昭和10年)頃、静岡市福田ヶ谷青島平十氏のみかん畑で発見され、氏の名前より「青島みかん」と呼ばれるようになったそうです。

さて、今日の主役である淑敏さんの生まれ故郷といえば、青島ビールで有名ですね。毎年の夏にビール祭りが開催され、町中ビールの香りが漂い、ビールを飲まなくてもほろ酔い状態になりそうです。

淑敏さんは1998年来日し、留学生生活を経て、愛妻家の夫と高2の息子と三人で幸せに暮らしています。主婦生活をしながら通訳、翻訳の仕事をし、いろいろなボランティア活動に携わっています。十年ほど前に、私とfacebookで知り合って、家族揃って名古屋へやってきて、一緒に中国春節祭を楽しんだりして友情を深めました。雲南省の少数民族を支援するNPO法人があるよと話したら、即入会し、春蓄生のサポーターになり、今まで9名の少女を支援してきました。いつも暮れになると、春蓄生へのお土産は何にするかを相談し、手紙にこんなことを書いたよ、あんなことを書いたよ、と嬉しそうに報告してきました。

筆者は様々な団体で役員を務めているため、いろいろな情報を接しています。時々 WeChat や facebook で癌患者を助けるための寄付や中

イベント報告

留学生忘年会開催 一年間のご協力に感謝

年の瀬も迫る12月30日、都内の雲南料理店に雲南、江蘇、遼寧、江西、河南の中国各省からきた留学生と日本の学生が集まり、忘年会を開きました。協会が縁で知り合った皆さんは、協会の様々な活動でボランティアとして活躍しました。協会は熱い思いを持った雲南の少数民族の青少年と日本とのかけ橋でもあります。次世代を担う若者たちが出会い、お互いに学んでグローバルな人財に成長できるよう活躍の場を提供してまいります。



日中の若者たちが集いました

イベント報告

令和3年度
第3回理事会
及び役員顧問会

日時：令和3年10月27日(水)
場所：株式会社技術評論社3階会議室

議案

日本雲南聯誼協会設立20周年記念式典、日本雲南聯誼協会の5年後10年後、「25の小さな夢基金」日本留学プロジェクト審議を行い、全て原案通り承認されました。

令和3年度第3回理事会及び役員・顧問会が下記の通り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度の第1回と第2回は理事会のみで、ビデオ会議ソフトを使用したオンライン開催となりましたが、今回は2年ぶりに顧問会も開催いたしました。

国の辺境地域で暮らす貧しい青年の応援を呼びかけます。すると、淑敏さんはいつも率先して寄付しています。実に優しい方だな、とつくづく思います。彼女は敬虔な仏教徒です。そんな優しさは信仰心由来なのか、生まれつきなのか、良い家庭環境で生まれ育ったのか、一度ご本人に聞いてみたいです。

董 紅俊(日中青少年交流部長、会員、名古屋支部ボランティア)

編集後記

気をつけてはいたのですが、先日所用で人混みを歩いたところコロナに感染しました。発症した翌日の夜から喉が焼けるように痛んで眠れず、解熱剤を飲んでも熱は39度を超えたまま。一時40.5度までいった時はどうなることかと思いました。どんなに文明が発達しようと、エボラやコロナなど新たな疫病が現れ続ける限り、世界は団結して闘わざるを得ません。人類が運命共同体である以上、国境をまたいでいがみ合うのは無意味だとつくづく感じます。

(編集長・木本 一彰)